

# 劍聖 飯篠長威齊家直公

## 大竹利典

(天真正伝香取神道流師範)  
(銃砲刀劍類登録審査委員)

であります。

日本武道の源流「天真正伝香取神道流」は飯篠伊賀守家直公を流祖として下総の国、香取の地に伝承する武道であります。

家直公は元中四年（一三八七年）に下総の国飯篠村（今の香取郡多古町）の郷士の家に生まれ、幼少の頃より刀槍の術にすぐれ、主家の千葉家においても武勇の誉れ高くその名声は四隣にとどろいていました。

ある時本朝武勇の祖神であります香取神宮下の御神井にて従者が馬を洗ったところ、途端に馬が苦しみましたし、不思議にもたちまちにして死んでしまいました。家直公は経津主大神（香取神宮御祭神）の深遠なる御神威に恐れ、何か心に悟るものがありました。それより一族郎党の者を解雇し、香取神宮へ一千石、大槻宮本村に新福寺を建立し寺館として一千石を取め、香取神宮奥の宮に程近い梅木山に隠棲し、香取の神に志千日の大願を起てたの

り、松本備前守政信、諸岡一羽齋等を初め秀吉の軍師として有名な竹中半兵衛重治があり、奥州仙台公家臣片倉小十郎村典、黒沢源七郎、幕府旗本には中台信太郎、松本直一郎、伊庭軍兵衛、又諸藩の代々指南家等枚挙にいとまがありません。

なお当流には劍術、居合術、棒、槍、薙刀、手裏劍、柔、忍術戦術、築城法等天地理風水陰陽気学に至る総合された軍学兵法があり、従って日本武道の長上に位しております。不動智神妙劍ツバメ返し等の極秘剣もあり、今でも入門の際に血判を押す厳しい方法で当時のものをそのまま今日まで保存し、約六百年の永きにわたって伝えられてきたのであります。神道流兵法は、昭和三十五年、日本武道では最初の無形文化財として指定されております。

### 流祖のおしえ

家直公の歿せられたのは長享二年四月十五日（一四八八）実に百二歳の高齡であります。

法号 泰厳院殿平朝臣来翁道本大居士  
配 光岳院殿妙室清鏡大姉

家直公は長享元年四月故郷飯篠村に帰り、同年八月如意山地福寺を創建しております。

（香取郡史千葉県史）如意山地福寺は多古町

